

浅井町 ふれあいたより

6月号

発行日 平成26年6月1日 発行者 浅井町地域づくり協議会

一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)

【伝統の行事を終えて】

一宮市立浅井中小学校

校長 町田 哲雄

本校の特色ある取り組みの一つであり、伝統ある行事に「ふれあい遠足」があります。好天に恵まれた5月1日、全員で大野極楽寺公園へ行ってきました。この遠足は、『であい ふれあい わきあいあい』のスローガンのもと、お互いの良さを認める機会として、思いやりの心を育てる場として位置づけられた遠足で、6・1年、5・3年、4・2年生がそれぞれペア学年としてグループを作り、男女72グループが協力して活動するものです。行き帰りの道のりは、高学年が低学年をしっかりとサポートし安全第一で歩きます。現地では、児童会が中心となって企画したウォークラリーにグループ単位で取り組みました。広い公園内を、高学年の児童が低学年の児童を思いやりながら歩く姿をいたるところで見ることができ、心が温かくなりました。低学年の子ども、お兄さんやお姉さんに支えられ、自分の足で最後までしっかりと歩くことができました。毎年の行事ですが子どもたちの成長を目の当たりにする時間であるとともに、「強い子を助け、弱い子を守る」という気持ちから、上級生の下級生を思う優しい言動が感じられ、思わず笑顔になる瞬間でもあります。



上級生が下級生の手を取り出発です



どのポイントから回る？ 作戦会議中の班です

この経験が積み重ねられることで、上級生が下級生の面倒をみる雰囲気づくりができています浅井中小学校です。今年もグループ内ではいろいろと摩擦があり葛藤があったことと思いますが、それを乗り越え安全で楽しく、思いやりあふれる「ふれあい遠足」にすることができました。どの学年の児童たちもこの経験を通して、また一歩大きく成長することができたのではないかと思います。子どもたちの心を育てることができるこの行事を、これからも大切にしていかなければならないと職員一同で再確認した5月でした。

『一宮市子ども会指導者研修会』で体験発表 尾関子ども会 小野由加里さん

4月26日(土) 一宮市民会館大ホールで平成26年度一宮市子ども会指導者研修会が開催され、尾関子ども会の指導者 小野由加里さんが「充実の一年」と題して体験発表を行いました。

会場には一宮市長、教育長さん他の来賓をお迎えし、市内の各連区

から800名を超す指導者が参加しました。体験発表で小野さんは「役員に決まった時は気持ちが

へこんだが、一年の活動を通して、指導者たち大人の少しの工夫で子ども達の心に一つでもいい思い出を作ってもらえたかなと感じ、指導者をやって本当に良かった。」などと語りかけて、参加者から盛大な拍手を頂いていました。

(児童育成協議会 酒井)



『一宮市主催 浅井連区町会長会議開催』 浅井町連区長 綾織 孝司

4月15日(火)、一宮市主催の町会長会議が浅井公民館で開催されました。約2時間の会議で、初めに谷 一夫市長さんから26年度当初予算の概要説明や、特に重点を置いた市政の運営についての話がありました。また、地域ふれあい課職員による「町会長の手引」を基にした説明、その他各課からの依頼事項等の説明を受けました。

市長さんの話は「健やかでいきいきと暮らせるまちづくり」「自然と共生する快適なまちづくり」「たくましい産業が躍動するまちづくり」等、多義にわたる内容で、担当職員の説明は、今後の町内会の運営の在り方に大変参考になり、充実した時間を過ごすことができました。

その後浅井連区主催の町会長会議に移り、「平成26年度連区町会長会の事業計画・予算(案)について」「浅井連区防災訓練について」その他、側溝掃除・浅井町ピカピカ大作戦・資源回収・交通安全街頭監視活動等、当面の予定について確認などを行いました。

この会議を皮切りに26年度浅井連区及び各町内会の行事や諸活動が本格化してまいります。私たち町会長一同心を一つにして連区及び町内会の運営に全力で取り組む所存です。町内の皆様方にもご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



『第58回児童福祉大会開催』 浅井町連区児童育成協議会会長 酒井 廣道

浅井町児童育成協議会では、第58回児童福祉大会を5月11日(日)浅井中小学校の運動場で盛大に開催しました。当日は快晴の良い天気恵まれ、浅井町の17子ども会の児童、保護者、ボランティアの中学生らが参加し、地域の役員や学校の先生方をご来賓にお迎えして総勢600名を越す大会となりました。大会は子どもの代表が保護者と共に「ぼくたち、わたしたちは、運動や勉強にはげみます。そして友達みんなとなかよくします。」と親子宣言して始まり、ご来賓の受け付け、放送係、国旗を掲げる係など保護者とボランティアの中学生に見守られながらも、子ども達で運営されてゆきました。「そのいっぽ みらいにつづく ゆめのみち」という今年の児童福祉週間の最優秀作品の標語のとおり、浅井町の3小学校のみんながひとつになって思い切り楽しんだこの一日は子ども達の将来への大きな心の糧となって残ることでしょう。



『ふれあいまつり』

浅井児童館館長 塩田 照樹

5月17日(土)、午前、午後の2回にわたり、児童館最大のイベントである「ふれあいまつり」を開催しました。朝早くから、足の踏み場もないくらいの大盛況で、子どもたちは工作(クラフトハット・くるくーん・恐竜のたまご)やゲーム(ペットボトルエアホッケー・缶キャッチャー・ピン球めいろ)に一心不乱に取り組んでいました。最後にはお土産の風船をもらい大変嬉しそうでした。「ふれあいまつり」の目的は「児童館」のことをたくさんの人に知ってもらい、利用してもらうことです。

未来の日本を担う子どもたちの健全な育成を願い、これからも温かく見守っていききたいと思います。(参加者 237名)



【開館日:月～土(日曜・祝日・年末年始は休館)、開館時間:9:30～17:30、
利用対象年齢:0歳～18歳 ☎51-1140 いつでも気軽に遊びにきてください】